

この島に なにを学び この島のすらになにをのこすのか 【校訓】人を慈しみ、己がつとめをつくす

海の声

地域の皆様と保護者の皆様とわたしたち「チーム御所浦」で「瞳 きらきら 心 ぴかぴか」な子どもたち、夢を笑顔で語れる子どもたちを育てていきたい。

天草市立御所浦小学校 学校通信 No.19

文責 木場 正敏 令和5年3月22日



学校HPもほぼ毎日更新しています。子どもたちの学校の様子をお伝えしています。是非ご覧ください。

<https://es.higo.ed.jp/goshoura/>

「御所浦の海の未来に向かって」

☆御所浦の海に関する講話

☆魚捌き体験

☆マダイ等養殖場見学

3月7日天草漁協御所浦支所、天草市水産研究センター、漁師・養殖業者の皆さんを講師に招き、海洋環境学習を行いました。総合的な学習の時間を中心に学年でテーマを設定し、様々な視点から体験活動と関連付けて学びを深めています。海に囲まれ、その海の恩恵をうけている御所浦。その御所浦の海の現状や漁業の現状について、「御所浦の海の未来に向かって」というテーマで講話をしていただきました。その後、5・6年生は魚捌き体験、4年生は沖に出て真鯛の養殖場でえさやりの体験などを行いました。事前の調査では一人でも魚を捌いたことがある児童は2人のみ。初めて体験する児童も多かったようです。貴重な学習の機会、ありがとうございました。



「くまもとの笑顔・未来を創る児童・生徒」特別賞をいただきました。

昨日、熊本県天草教育事務所長 吉本様にご来校いただき、「くまもとの笑顔・未来を創る児童・生徒」特別賞の伝達式を行いました。

この賞は、栄誉ある賞で「熊本県教育委員会が「誰かのため、地域社会のためにひたむきに頑張っている子どもたちを励まし、熊本の子どもの善い行いを表彰し、広く県民にお知らせしたい」という目的で設定されている賞です。今年度がリニューアルして1回目の表彰となります。御所浦小児童（毎年6年生）が御所浦イルミネーションに参画して8年。御所浦小の児童が地域と連携・協働しながら創り上げる、そして引き継いでいく、この事業に対して特別賞（県で6団体）をいただきました。5・6年の代表がお礼の言葉とこれからの決意を発表してくれました。「地域のために」「地域とともに」という思いを引き継いでいきます。

令和4年度ありがとうございました。令和5年度もよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様のあたたかいご支援・ご協力が子どもたちの健全な成長につながっていると、とても感じた一年でした。（写真は6年生のみなさんと一緒に!）



令和4年度最後の学校通信「海の声」となります。保護者の皆様、地域の皆様、本年度も本校の教育活動に多大なご理解・ご支援をいただきありがとうございました。

今年度も、以前よりは緩和されてきた面もありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から様々な制約のあるなかでの教育活動となりました。その中で、「そのときそのときに最適な学びを保障しよう」と一致団結して取り組んでまいりました。御所浦小は着実に歩みを進めることができたと思っています。しかし、できなかったところ、お子さんの力をまだまだ伸ばせたのではないかと考えるところも正直あります。本日、修了証と通知表をお渡ししました。全員の通知表を見せてもらいましたが、子どもたちのがんばりがとても伝わってきました。また、子どもたちをしっかりと見つめ、伸びるポイントをやさしく示す担任の温かさも感じました。この子どもたちの学びの様子は、この学校通信「海の声」や御所浦小ホームページでお伝えしてきたところです。令和5年度も確かな学びや経験を積み重ねて、子どもたちの「御所浦で学んでよかった」という成就感を高めていきたいと思っています。保護者の皆様や地域の方々の温かい支援、本当にありがとうございました。